

家畜改良センター 技術マニュアル 7

堆肥化処理の理論と実践Ⅱ

独立行政法人 家畜改良センター

はじめに

平成10年に家畜改良センター技術マニュアルの第一弾として「堆肥化処理の理論と実践」が発行された。その後、「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」が施行されたことにより、家畜排せつ物の堆肥処理の重要性が脚光を浴びてきたところである。

一方、初版の「堆肥化処理の理論と実践」の作成後、4年と間がないこと、初版の内容について好評を博していることから、今回のマニュアル作成には大いに躊躇したところである。

しかしながら、前述のように「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」が施行されたことにより、状況変化が多少見られたことから本稿を起こしたものであるが、基本的には初版本の延長線上にあるということを御了知願いたい。

そういう意味でも、「堆肥化とは、堆肥の山を何とかしようというのではなく、堆肥の山の中に生きている微生物を何とかしようという技術である」ということは、本稿でも同様であり「堆肥は生きている」ということは、全くマニュアルのIと同様であるということを御認識願えれば幸いである。

目 次

堆肥化処理の理論と実践Ⅱ

家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律の概要	5
堆肥化技術に関する主な用語	7
家畜ふん尿の排せつ量	9
堆肥化の目的	10
堆肥化の条件	13
堆肥化における有機物の化学的変化	15
堆肥化における微生物の役割	17
堆肥化を促進する方法	19
切り返し作業方法	20
腐熟度判定法	23
家畜ふん堆肥の利用	26
牛ふんの性状	32
堆肥発酵処理施設における牛ふん堆肥調整技術	33
ある農協における堆肥発酵処理施設の導入計画例	36

(参考) 家畜排せつ物の適正化及び利用の促進に関する法律
